公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会報告

（2026 年 8 月版）

2026 年 7 月 29 日（水）、全国ビルメンテナンス協会の「2026 年定時総会」がリーガロイヤルホテル広島（広島市中区）で開催されました。

総会では下記の 4 議題について審議が行われ、すべて原案どおり決議されました。

- 第 1 号議案　2025 年度事業報告承認の件
- 第 2 号議案　2025 年度決算承認の件
- 第 3 号議案　定款の一部改正の件
- 第 4 号議案　定款細則の一部改正の件

主要な部分を抜粋し、分かりやすくまとめた「全国協会総会報告」をお届けします。

Ⅰ．2025 年度事業報告（概要）

全国協会は平成 28 年度より、経営理念「人と社会を元気にする仕組みをつくる」、中期ビジョン「協会員であることをデファクトスタンダードに」を定めました。2025 年度においても経営理念・ビジョンの実現を目指し、戦略に基づいて事業を展開して参りました。以下、2025 年度の主な事業成果についてご報告します。

1．調査研究事業

1-1．建築物における保全上の問題・課題調査

2）保全業務労務単価の適切な設定の検討

「建築保全業務労務単価」を決めるための調査に協力した結果、令和 8 年度の労務単価は 14 年連続で上昇しました。

4）維持管理・運用 BIM への対応検討

ビルメンテナンス会館(東京)の維持管理BIMを完成させました。

令和 8 年度建築保全業務労務単価

・全国、全職種平均： 19,540 円

・令和 7 年度比： +8.5％

職　種	全国平均	R7 年度比
保全技師等	24,787 円	+7.7％
清　掃　員	16,793 円	+9.4％
警　備　員	17,040 円	+9.1％



ビルメンテナンス会館（東京）の維持管理 BIM

2．建築物衛生法関連事業

2-2．監督者講習の実施

2025 年度の清掃作業監督者講習は、新規講習 554 名、再講習 373 名、合計 927 名の受講申請があり、合格者は 890 名でした。

2-3. 建築物における衛生的環境の確保に関する法律の強化

法強化をビルメンテナンス議員連盟に要請した結果、議連内にプロジェクトチームが設置され、全国協会と連携しながら検討を進めることになりました。

3. 普及啓発事業

3-1. エコチューニングの推進

技術者資格認定は、第一種は 40 名の申込があり、39 名を認定しました。第二種は 106 名の申込があり、104 名を認定しました。技術者資格更新講習は年 2 回実施し、合計で 111 名が更新しました。

事業者認定は年 2 回を実施し、合計で新規 6 事業者、更新 60 事業者を認定しました。

3-3. 適正な発注事務の普及

保全セミナー
視聴ページ

1）官公庁発注者への適正な発注事務の普及

「保全業務マネジメントセミナー」を 13 の動画で配信し、合計で 1,000 回以上が再生されました。

3）これからのビルメンテナンス業のあり方に関する検討

低入札価格調査制度および最低制限価格制度の価格基準を引き上げるよう要望・折衝した結果、新たな基準が厚生労働省から通知されました。

4）構造的賃上げに向けた価格転嫁交渉の推進

価格交渉支援冊子
自主行動計画
ダウンロードページ

取引適正化に関する情報やツールをまとめ、会員の価格交渉を支援する冊子として配布しました。また関連するオンライン説明会やセミナーを 41 回実施し、763 名が参加しました。さらに取適法の施行を踏まえた「自主行動計画」の改定を行いました。

3-5. ビルメンテナンスの国際的組織への参画

1）アジアビルメンテナンス連盟への参画

広島協会と協働して、第 9 回アジア大会の企画・準備を進めました。また第 10 回アジア大会を 2028 年に韓国で開催することを決定しました。

2）第 3 回世界ビルメンテナンス大会の企画

第 3 回世界大会を 2026 年 10 月にトルコ・イスタンブールで開催することを決定し、参加者の募集を開始しました。

3-6. 建築物の安全確保に関する普及啓発

「建物の仕組みと維持管理」の改訂版を 5 月に発行しました。また受発注者双方が共通認識を持てることを目的とした「設備管理業務標準仕様書」を作成し、5 月に公開しました。



建物の仕組みと維持管理
（2026）

3-7. 障がい者就労支援に関する事業

1）全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）の開催支援

高齢・障害・求職者雇用支援機構の要請に基づき、アビリンピック「ビルクリーニング種目」の実施に協力しました。大会では 51 名の選手が参加し、金賞 1 名、銀賞 3 名、銅賞 3 名、努力賞 1 名が受賞しました。

4. キャンペーン事業

ビルメン
ヒューマンフェア
公式サイト

4-1. ビルメンヒューマンフェアの実施

1）ビルメンヒューマンフェア 2025 の企画・運営

2025 年 11 月 19 日～21 日に東京ビッグサイト・西展示棟で開催しました。展示会には 151 社・374 小間が出展し、来場者数は 15,273 人でした。また講演会は 13 のテーマで実施し、合計で 1,049 人が参加しました。

2）ビルクリーニングサービスグランプリ 2025 の企画・運営

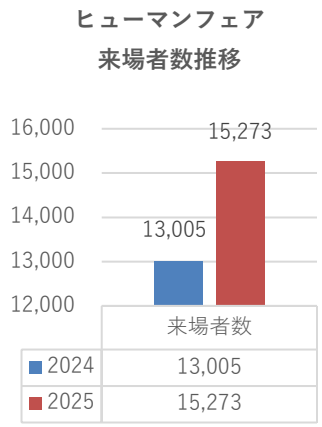
全国から 22 チーム・69 名の選手が参加し、東京地区のチームが最優秀賞となる厚生労働大臣賞を獲得しました。



ビルメンヒューマンフェア展示会



サービスグランプリ表彰式



4-2. ビルメンテナンスこども絵画コンクールの実施

第 19 回目の絵画コンクールを実施し、全国から「未来のおそうじ／まちで見つけたビルメンテナンス」をテーマとした絵画 4,469 点が寄せられました。厳正なる審査の結果、文部科学大臣、厚生労働大臣、環境大臣の 3 大臣賞をはじめ、金賞・銀賞・銅賞など合計 656 点の受賞作品を決定しました。



文部科学大臣賞



厚生労働大臣賞



環境大臣賞

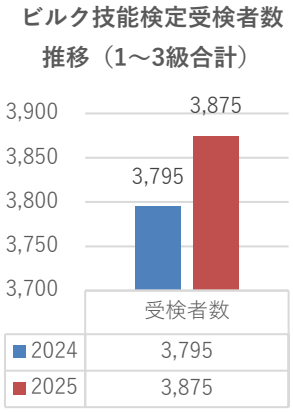
絵画コンクール
特設サイト

5. 教育・資格事業

5-1. ビルクリーニング技能検定の実施

1級は受検者2,055名、合格者775名（合格率37.7%）でした。2級は受検者649名、合格者296名（同45.6%）でした。3級は受検者1,171名、合格者718名（同61.3%）でした。

技能実習生向けの随時2級は103名、随時3級は3,220名、基礎級は2,815名が受検しました。



5-2. ビル設備管理技能検定の実施

1級は受験者36名、合格者21名（合格率58.3%）でした。2級は受験者35名、合格者18名（同51.4%）でした。

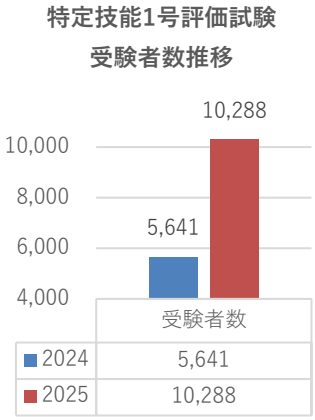
5-3. ビルクリーニング分野特定技能評価試験の実施

1）ビルクリーニング分野特定技能1号評価試験の実施運営

国内の受験者は3,209名で、うち1,889名が合格しました。海外の受験者は7,079名で、うち5,101名が合格しました。合計で10,288名が受験し、うち6,990名が合格（合格率67.9%）しました。

2）ビルクリーニング分野特定技能2号評価試験の実施運営

4回試験を実施し、受験者は合計で252名、合格者は33名（合格率13.1%）でした。



5-4. 建築物清掃管理評価資格者の認定講習の実施

新規講習会は8地区で13回開催し484名が受講、合格者は408名でした。フォローアップ講習は706名が受講、696名が資格更新を行いました。

5-5. 病院清掃受託責任者講習の実施

新規は1,032名、再講習は1,751名の計2,783名が修了しました。

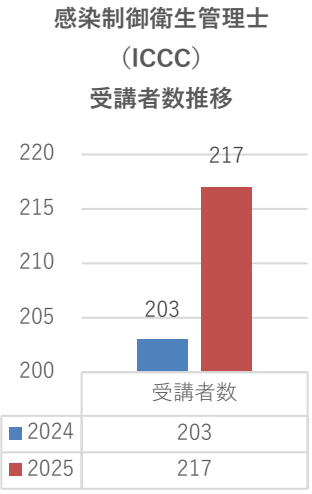
5-7. 環境感染制御業務に関する事業

1）感染制御衛生管理士（ICCC）認定講習会の実施

7地区で実施し、合計で217名が受講し、209名が修了しました。

2）建築物内感染対策講習の実施

オンラインで講習を実施し、36名が受講し、31名が修了しました。



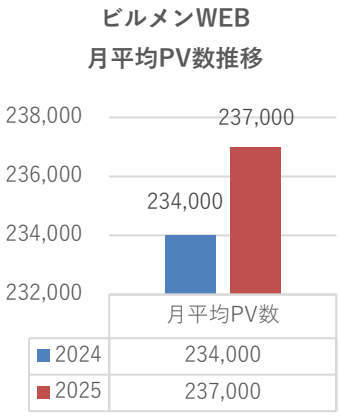
6. 伝達媒体運営事業

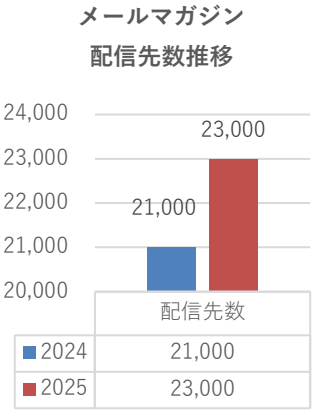
6-1. 情報伝達媒体の強化

1）全国協会ウェブサイトの運用

生産性向上や適正取引の推進など課題解決のヒントとなる記事の配信を強化するとともに、動画配信などを充実させました。サービスグランプリのライブ配信は 2 日間で 2,500 超の視聴がありました。

またメールマガジンを月 3 回配信し、毎回の配信数は約 23,000 件、開封率は毎回約 32%でした。外国人の利用者が多い Facebook で外国人材向けの情報発信を重点的に行った結果、フォロワー数は約 3,500 人になりました。





7. 会員支援事業

7-1. 会員メリットの開発・提供

1）付帯サービスの提供

会員限定で提供しているオンライン研修「マイビズアップ」は視聴回数が 9,724 回、補助金・助成金情報はアクセス数が 1,329 件でした。

2）会員の人手不足対策の支援

① 外国人材の活用促進

5 月に外国人材採用の優良事例を検索できる「ビルクリーニング外国人材事例集」を WEB で公開しました。また海外採用ツアーを実施し、日本からは 9 名、現地求職者は 51 名が参加しました。さらにジョブマッチングイベントを東京で実施しました。

② 生産性向上の支援・情報提供

WEB に清掃ロボットや AI、ドローン活用のヒントとなる記事を掲載し、合計で約 9,800PV が得られました。「清掃ロボット実機体験会」を大阪、福岡、宮城で開催し、合計で 80 名が参加しました。また省力化投資補助金セミナーを開催し 40 名が参加しました。

③ 国内人材確保の支援

人材確保に関連する記事を複数 WEB に掲載し、合計で約 1,000PV が得られました。



インドネシアでの採用ツアー



ジョブマッチングイベント



情報提供冊子

4）労働災害防止の指導・支援

月 1 回配信している動画「安全・健康のツボ」は、合計で約 7,050 回再生されました。

従事者の体力づくりを目的とした「ビルメン SAFETY＆HEALTH ダンス」振付コンテストを実施し、42 点の応募がありました。ダンサーの SAM 氏を招いて一次審査と一般投票を行い、最優秀賞を決定しました。最優秀賞の振付をもとに「ビルメン SAFETY＆HEALTH ダンス」を完成させ、公開しました。



ビルメン SEAFTY&HEALTH ダンス



安全・健康のツボ

7-2. 第 56 回実態調査の実施

10 月に調査を実施し、回収数は 1,061 件、回収率は 37.7%でした。調査結果は「ビルメンテナンス情報年鑑 2026」として 3 月に発行し、会員に配布しました。

ビルメン情報年鑑
ダウンロードページ

※2025 年度事業報告全文は、「ビルメン WEB」（www.j-bma.or.jp）で公開しています。

Ⅱ. 2025 年度決算（概要）

2025 年度 決算概要	収益　9.1 億円　遂行率 102.6% 費用　9.1 億円　遂行率　98.9%

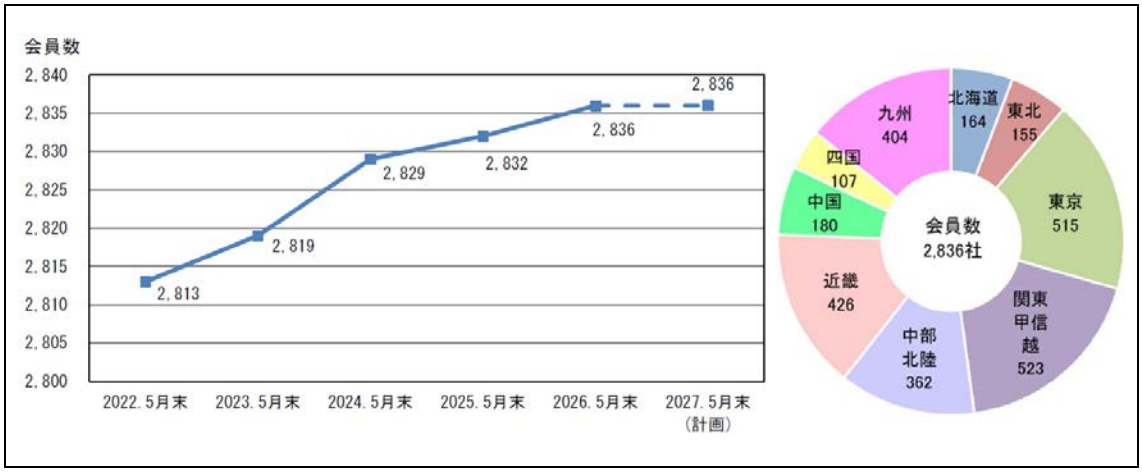
【収益】

技能検定及び特定技能の事業が引き続き大きく伸長し、教育・資格事業を中心に、各事業とも堅調に推移した。

【費用】

事業費及び管理費については、委員会活動の活発化や事務局による円滑な事業運営により、概ね計画通りの水準で推移した。

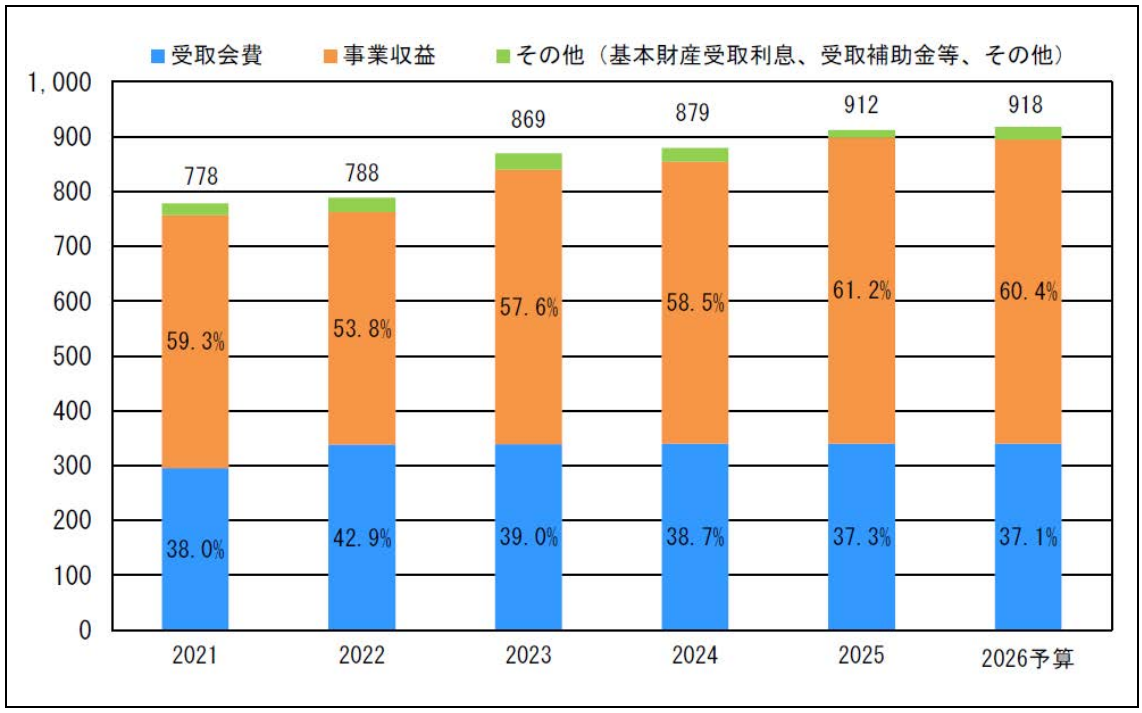
【グラフ１】会員数の推移と 2026 年 5 月末地区別会員数内訳　　（単位：社）



ここ数年の実績を見ますと若干の増加傾向にありますが、会員予測の推移もそれを踏まえたかたちで立てております。

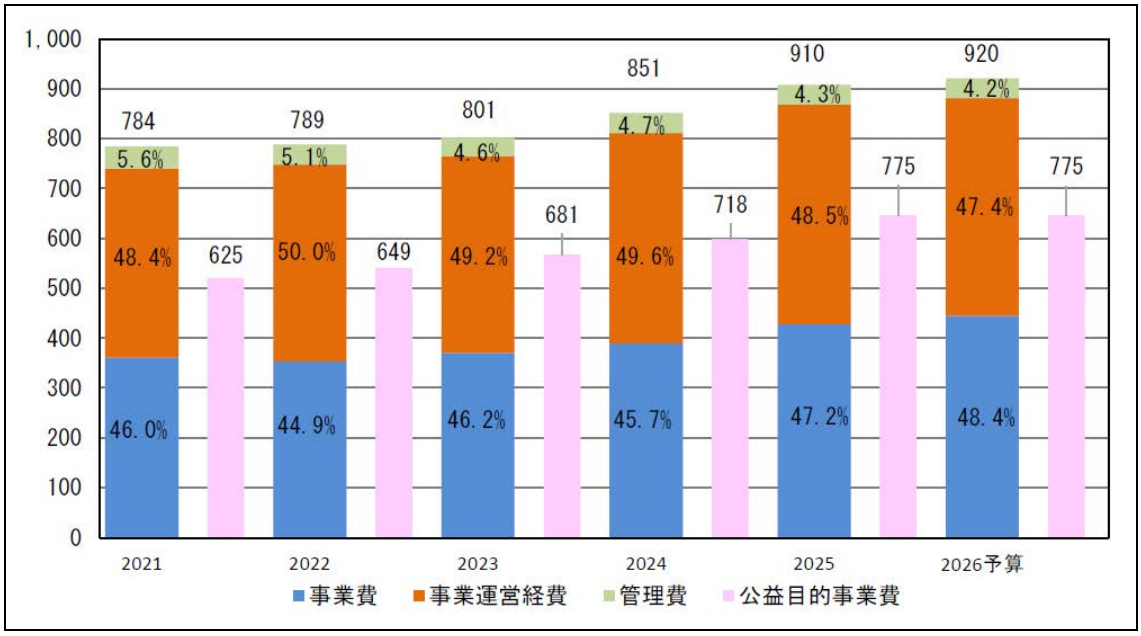
今後も継続して会員を増やしていくよう、魅力ある事業づくり、新規事業の構築を推進して参ります。

【グラフ２】経常収益の構成比の推移　　（金額単位：百万円）



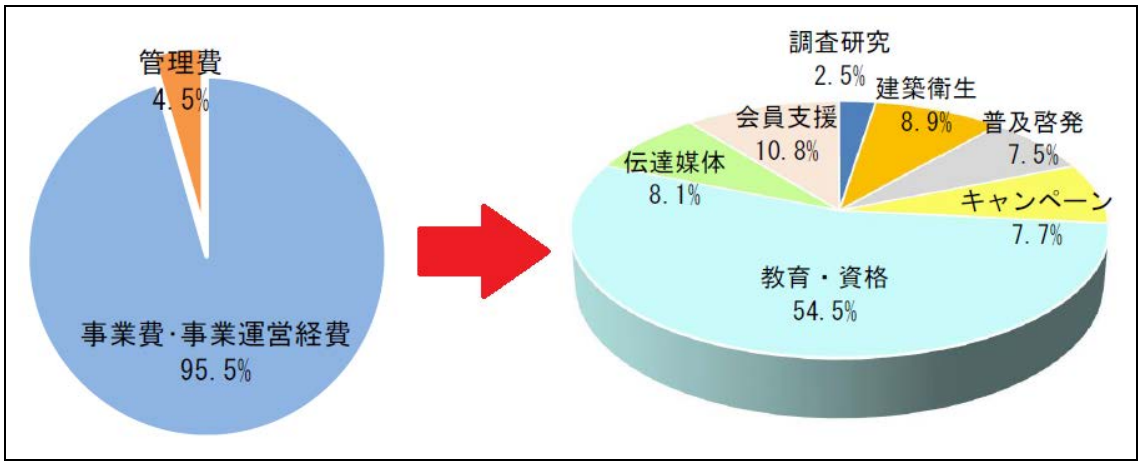
収益の安定化をさらに推進し、事業提供を全国の事業者の皆さまへ継続的に実施できるよう努力して参ります。

【グラフ 3】経常費用の構成比の推移　　（金額単位：百万円）



おおよそ事業費が事業運営経費と管理費の合計額を若干下回る傾向で推移しています。さらなる事業拡大を図るため、事業費の割合を増やして参ります。

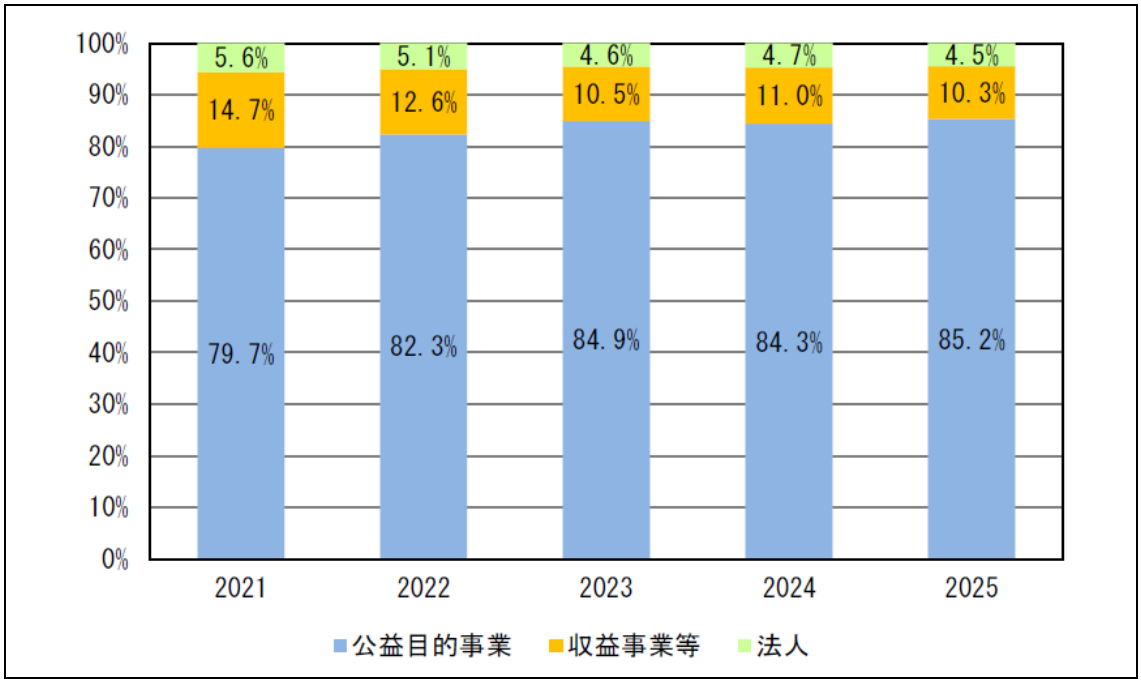
【グラフ 4】事業別費用投入割合



会員と直接的結びつきをもつ、普及啓発事業及び教育・資格事業、伝達媒体事業、会員支援事業で約 8 割の事業費が使われています。

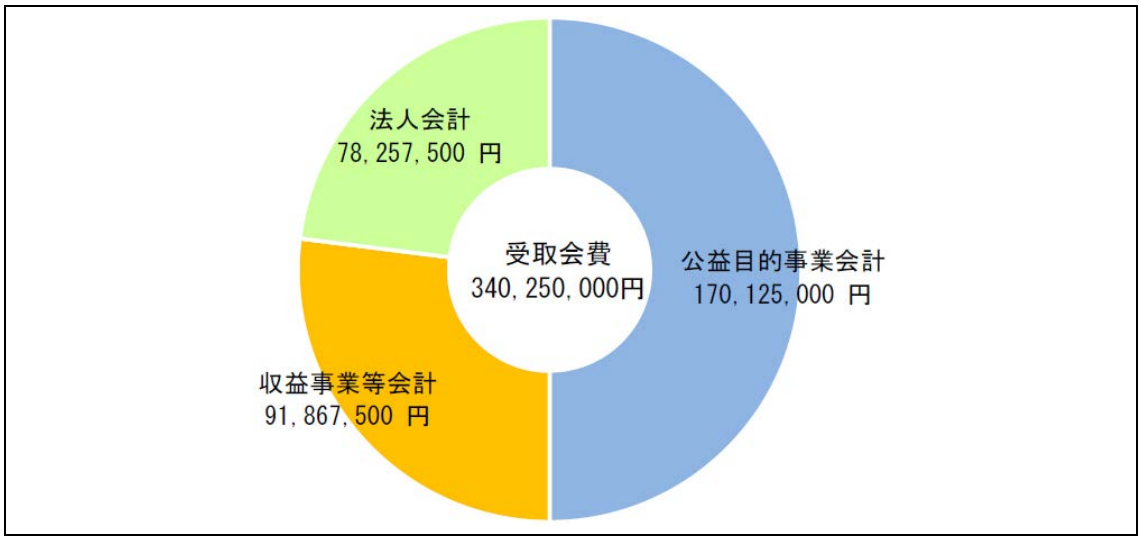
普及啓発事業には「エコチューニング」「医療関連サービスマーク」、教育・資格事業には「ビルクリーニング技能検定」「ビル設備管理技能検定」「ビルクリーニング分野特定技能評価試験」「病院清掃受託責任者講習」「建築物清掃管理評価資格者（インスペクター）講習」、伝達媒体運営事業には「電子メディア（ビルメン WEB）」、会員支援事業には「賠償保険加入勧奨」「労働災害防止」があります。

【グラフ 5】経常費用の構成比の推移



安定して公益目的事業費率は推移していますが、共益事業である会員支援事業をさらに拡大し提供できるよう推進して参ります。

【グラフ 6】会費の使途



毎年、受取会費については、公益目的事業会計へ 50%、収益事業等会計（会員支援事業）へ 27%、法人会計（管理費）へ 23%を投入して運営を行っております。

Ⅲ．質疑応答

【質問】全国ビルクリーニング技能競技会の再開について

「全国ビルクリーニング技能競技会」は 2025 年より「ビルクリーニングサービスグランプリ」として刷新され、「ビルクリーニングの顧客価値を競う大会」へと進化し、昨年の「ビルメンヒューマンフェア」において開催された同大会は盛況であったと認識しております。

一方、従来の技能競技会形式についても依然として人気が高く、多くの会員企業から問い合わせが寄せられております。東京協会においても、単独開催となる「ビルクリーニング技能競技会 東京大会」の参加募集を行ったところ、定員を上回る申込みがあり、技能を競い合う従来形式への関心の高さがうかがえました。

つきましては、従来の技能競技会形式による全国大会の再開を期待しておりますが、今後の展開についてお聞かせください。

【回答】

全国ビルクリーニング技能競技会につきましては、会員の皆さまからいただいたご意見やご要望を踏まえ、大会の目的や意義を改めて検討した結果、2025 年度から「ビルクリーニングサービスグランプリ」へと刷新いたしました。これは、技能そのものに加え、お客さまへのサービス提供や顧客価値の創出に着目し、時代のニーズに対応した新たな大会として発展させることを目指したものです。

また、サービスグランプリにおいても、従前の技能競技会で培われてきた技術や競技要素を活かした形での参加が可能となっており、技能を磨き、その成果を発表する機会は引き続き確保しております。

一方で、ご指摘のとおり、従来の技能競技会形式による全国大会の再開を望む声があることは認識しております。しかしながら、サービスグランプリの趣旨に賛同し、顧客価値やサービス品質の向上を競い合う新たな取組を評価する声も多数寄せられております。

全国協会としては、サービスグランプリを通じて業界全体の顧客価値向上を推進していく一方で、各地区協会等が実施する技能競技会とも連携しながら、人材育成や技能継承を図ってまいりたいと考えております。全国協会の「サービスグランプリ」と地区協会の「技能競技会」は、それぞれ異なる視点から業界の価値向上に寄与する取組であり、相互に補完し合いながら業界全体の発展につながるものと考えております。